

## スポーツを通じた国際貢献事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラム オンラインスポーツ国際貢献活動を展開 ネットワークを活用した情報共有・連携で人と人・国と国のつながりを強化

報道関係各位

外務省とスポーツ庁が主導し、日本スポーツ振興センター(JSC: JAPAN SPORT COUNCIL)が官民連携コンソーシアムの事務局を担う「スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)プログラム(※1)」では、現在、オンラインを利用したスポーツ国際貢献活動を展開しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により国境を越える交流が制限され、事業の多くが実施困難となる中、新しい国際協力・交流のスタイルにチャレンジする活動の一部を紹介します。

### オンラインスポーツ国際貢献活動

#### ■ ラオスにおけるパラ選手へのオンラインコーチング

- ・ 実施団体: アジアの障がい者活動を支援する会(ADDP)
- ・ 実施内容: 日本のパラスポーツの専門家・理学療法士が自主練習メニューを作成し、オンラインでアドバイスミーティングを定期的を実施。4月にパラ水泳のナショナルチーム選手とコーチで Facebook ページを立ち上げ、選手自身が自主練習の様子、選手紹介などを定期的アップし、ラオス社会に活動を知ってもらい、多くの人にサポーターになってもらえるように広報活動を展開している。



#### ■ 情報発信 You Tube チャンネルを開設

- ・ 実施団体: 一般社団法人 Japan Dream Football Association(JDFA)
- ・ 実施内容: タイを中心に開催している東南アジアでのサッカー教室が現在のコロナ禍で停止しているため、活動再開に向けてガイドラインを作成中。6月に You Tube チャンネルを開設し、英語とタイ語の字幕を付けて情報発信を開始した。



#### ■ コロナに負けずオンラインで発表会！ウルグアイ卓球バレー

- ・ 関係団体: 独立行政法人国際協力機構(JICA)
- ・ 実施内容: 2017年にJICA 東北が実施した課題別研修「スポーツを通じた障害者の社会参加の促進」に参加したウルグアイの研修員が帰国後卓球バレーを普及し、卓球バレーの紹介ビデオを作成。2020年5月27日にオンラインにて発表会を実施した。在ウルグアイ日本国大使、日本卓球バレー連盟代表者、ラテンアメリカ・カリブ地域帰国研修員連盟会長、ボリビア・ブラジルの帰国研修員、ウルグアイ教育機関関係者、帰国研修員、JICA ウルグアイ支所関係者など約40人が参加。



■ **スポーツ庁委託事業 戦略的二国間国スポーツ国際貢献事業  
「ペルーに対する体育教師の能力開発支援」プロジェクト**

- ・ 実施団体： 独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）
- ・ 実施内容： ペルー国内の新型コロナウイルス感染状況及び、ペルー関係者への影響について情報収集を行いながら、オンラインを活用した新しい授業研究の在り方、今年度のプロジェクト目標とタイムラインの確認。今年度はオンライン教員研修の実施、オンラインコンサルテーションシステムの構築、授業研究ガイドラインの完成を目指していく予定。



■ **スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム（SFTC）会員オンライン懇談会**

- ・ 実施団体： 独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）  
スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局
- ・ 実施内容： コロナ禍での活動制限の中、SFTC 会員の近況報告、情報共有、ウイズコロナ活動アイデアの共有の場として懇談会を実施。36 団体、46 名が参加し、多くの活動が共有された。SFTC 会員で連携してやってみたいこと、今後の懇談会で聞きたいテーマなどの声が寄せられ、今後の活動に活かしていく予定。



スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムでは、コンソーシアム会員の募集や認定事業（※2）の促進など、今後も官民連携によるスポーツ分野での国際貢献を一層推進してまいります。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）プログラムとは

- ・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催国として、同大会に向けて、開発途上国をはじめとする 100 カ国以上の国において、1,000 万人以上を対象に、世界のよりよい未来のために、未来を担う若者をはじめ、あらゆる世代の人々にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく取組。外務省とスポーツ庁が連携し日本国政府が主導するプログラム。
- ・ このプログラムを、日本国政府として着実に実施していくことは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた我が国の国際公約の一つ。
- ・ 行政機関、関係団体、大学等が保有している知見の交換、各機関の連携協力を促進し、国際社会にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていくことを目的に、スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム（SFTC）を形成している。

2 スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業とは

- ・ オール・ジャパンで「スポーツ・フォー・トゥモロー」のムーブメントを促進していくことを目的に、スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムが、会員団体が実施する「スポーツ・フォー・トゥモロー」の趣旨に沿った活動を「スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業」として認定するもの。

スポーツ・フォー・トゥモローホームページ

<http://www.sport4tomorrow.jpnsport.go.jp/jp/>

◀ お問い合わせ先 ▶

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局 担当：山田、堀  
（独立行政法人日本スポーツ振興センター内）

〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-35

TEL:03-6804-2776 FAX:03-3403-1570

日本スポーツ振興センターは、SFT コンソーシアム事務局業務を担当しています。